

九月ラジオFM吟詠放送吟題・出演者

一、和歌・心なき

〔新古今四〕

(西行)

佐々木 翠鵬

〔朝翠流・神奈川〕

心なき 身にもあわれは 知られけり 鴨立つ沢の 秋の夕暮れ (繰返し)

山間の秋夜

〔絶中〕四六

(真山民)

二、和歌・ちはやぶる

〔古今集五〕

(在原業平)

田中 国臣

〔吟道国敞流・神奈川〕

ちはやぶる 神代もきかず 立田川 からくれなるに 水くくるとは (繰返し)

月に対して感有り

〔統絶日(参)一四〕

(王守仁)

三、月夜禁垣外を歩す

〔統絶日〕十一

(柴野栗山)

中野 吟紫

〔吟生流・東京〕

従軍行

〔統絶中〕六二

(乾隆帝)

四、武野の晴明

〔絶日〕十

(林羅山)

清水 錦洲

〔錦水流・埼玉〕

秋浦の歌

〔絶中〕二二

(李白)

五、夜墨水を下る

〔絶日〕十七

(服部南郭)

奥村 精擘

〔岳精流・東京〕

中秋の月

〔統絶中〕五二

(苏轼)

六、秋日偶成

〔律古詩中〕三六

(程顥)

池田 嶺煌

〔心嶺流・茨城〕